

校長挨拶

本校は、岩手県沿岸北部の久慈市にある、知的障がいと肢体不自由を教育の対象とした特別支援学校です。令和8年度は64名（小学部16名、中学部23名、高等部25名）の児童生徒と、84名の教職員でスタートしました。寄宿舎では28名の生徒が生活しています。

本校では、「明るく 強く 生き生きと」の校訓のもと、児童生徒一人一人の障がいの状態や特性に応じた教育実践を通して、それぞれの可能性を最大限に伸ばし、健康で明るく、たくましく生きる人間の育成を目指しています。

小学部では、様々な経験を通して興味・関心を広げ、中学部では自己理解を深めながらコミュニケーション能力と行動力を育みます。さらに高等部では、社会生活に必要な知識・技能の向上を図るなど、小・中・高を通じた学びの連続性を大切にしながら、指導・支援の充実に努めています。

本校は、昭和54年に久慈養護学校として開校し、平成21年に現在の校名「久慈拓陽支援学校」になりました。「拓陽」の「拓」は、開拓の精神が息づいている侍浜地区で、厳しい寒さややませにも負けず、輝く人生を拓いてほしいとの願いが込められています。また、「陽」は、暖かさと明るさ、希望を象徴しています。この「拓陽」に込められた思いを大切に受け継ぎ、児童生徒、保護者、地域の皆様、関係機関の皆様、そして教職員が「チーム拓陽」の一員として心を一つにし、歩みを進めてまいります。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

令和8年4月 校長 菅原裕子

